



「地域を支える力」であり続けるために――

株式会社ミヤベ(山口県岩国市)

昨年8月、「やまぐち健康経営企業認定制度」に参加し、本格的に「健康経営®」の取り組みをスタートさせた株式会社ミヤベ。推進の指揮を執る齋藤智美さんと宮部智之社長にお話を伺いました。



創業から約70年、株式会社ミヤベは土木工事を通して岩国市の街をつくり、地域を守ってきました。道路やトンネル、橋梁、山腹、河川……。どの工事でも「人の力」抜きでは何も始まりません。

「土木工事業は一般的に『肉体労働』だと思われがちですが、それはイメージに過ぎません。実際には職人的な知識と技術、突発的な状況にも冷静に対処できる精神力など、心技体を兼ね備えていなければできない仕事だと思っています」

入社以来、現場に従事する社員たちを見守ってきた齋藤さんは、そう断言します。そして現在、宮部社長から任せられている健康経営の取り組みを「体力があれば誰でもできる、そのような仕事ではないからこそ必要」なのだといいます。

「当社には10代後半から70代まで幅広い世代の社員がいるのですが、平均年齢が高く、健康面も不安でした。しかし私たちが『やまぐち健康



ませたいがために自分が仕事を抱え込んで、残業、休日出勤を繰り返しました。しかし経験の浅かった部下は『自分がどれだけ助けられているか』ではなく『いずれは自分も、そこまでしなければいけないのか』と考え、退職してしまったのです。齋藤はその結果に悩み、苦しみました。責任は私にあります。制度は、枠組みをつくるだけでは不十分なのです」

ミヤベには「街をつくる」だけでなく「地域を守る」という使命があります。近年多発する集中豪雨や台風、地震などの災害時には、昼夜を問わず被災箇所への復旧工事に駆けつけ、冬場には路面凍結防止作業を行ない、平時でも道路や河川などの異常に目を配り……。24時間365日体制で、使命に向き合っています。

「私どもの仕事は『地域を支えること』であり、それをモチベーションにしている社員が多くいます。休むことは『地域を支える力を蓄えるこ

経営企業認定制度』に参加する際に考えていたのは、社員のことだけではありませんでした。社員の配偶者やご家族の健康もサポートしていきたくったからです。過去、実際に起こった話なのですが、本人ではなく、ご家族の病気のために退職を余儀なくされた社員もいたのです。ですから健康経営の第一歩として、社員のご家族まで含めて、希望者全員の人間ドックの費用を補助することにした。すると『年次の健康診断だけでは不安なので、機会があるなら受けてみたい。補助がなくても受ける』と、上の世代だけでなく若手社員の中から手が挙がったのです」

仮に日頃から健康意識を持っていたとしても、平日に仕事を休んで「検査に行く」とは言いづらいものです。その状況を見た宮部社長は、社風にも関わる課題を再認識したといいます。

「1年半前に完全週休二日制にしたリ、リフレッシュ休暇の取得を促したり、労働環境の整備には力を入れてきたのですが、まだまだ『休むことに抵抗を感じる社員が少なくありません。仕事柄、検査どころか病気で休む』と『自分の仕事は自分でやり遂げる』と、自らを追い詰めてしまふ職人気質の社員が多いので、責任感の強さがあだになっているのです。例えば以前、齋藤は部下を休

と『だと、頭ではなく体で理解できるようにになれば、その力をもっと強くなるはず。労働時間の減少からくるシワ寄せをどのように解消していくのか。効率化を図れる業務もありますが、それでは解決できない現実もあり、そこが健康経営の推進を妨げる障壁の一つになっています。大きな障壁ですが、乗り越えなければいけないと思います」

宮部社長が取り組む健康経営のゴールは「認定」を得ることではありません。そのため「やまぐち健康経営企業認定制度」の枠には収まらない課題も、真正面から受け止めて最善策を見つけようと尽くします。

「メンタル面のケアは難しい課題です。ストレスチェックも実施していますが、誰がストレスを抱えているのかは企業側には開示されません。休養を取ってもらいたい社員ほど『大丈夫』だと口にしますから……」

健康経営の成否は、社員とのコミュニケーションの質に大きく左右されると、宮部社長は考えます。

「ストレスの問題にしても、働き方に対する価値観のギャップにしても、やはり組織としてきちんとケアできるかどうかにかかっているのだと思います。誰かのために、別の誰かが犠牲を払うようであれば、私はそれを『健康な経営』とは呼べないのです」

■ 中小企業経営の現状分析に「大同生命サーベイ」をお役立てください！ ■

大同生命に所属する全国約3,800名の営業職員は、日々様々な業種・業態の中小企業経営者と触れ合っています。そこで見聞きするのは**現場のリアルな声**であり**時代の生の声**です。そのような声を共有し、経営の参考にさせていただこうと開始した調査が「大同生命サーベイ」です。

■ 各月の「個別テーマ」と定例の「景況感調査」を公開しています！

調査結果は月次レポートとしてプレスリリースを発表し、Webサイト上にも公開。従業員数20名以下の企業を対象とした統計は貴重であることから、各所からご好評をいただいております。どなたでもパソコンやスマートフォンの当社Webサイトからご覧いただけますので、どうぞご利用ください。

<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/>



大同生命サーベイ11月度調査「健康経営の取り組み」にご回答いただいた企業の中から、健康経営に取り組まれている企業さまにインタビューしました！



企業 DATA

所在地 山口県岩国市元町1丁目8番10号

代表者 代表取締役 宮部智之

事業内容 土木工事、舗装工事、環境対策工事、産業廃棄物処理業、下水道工事、造園工事、エクステリア工事、解体工事、アスファルト合板販売、スポーツ施設工事等

Webサイト <http://www.kk-miyabe.net>



写真左は宮部智之社長、右は齋藤智美さん(執行役員・管理本部長・総務部長)。

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

photo: Yoshinori Tagashira (ポートレート) / 株式会社ミヤベ(画像提供)